

## 新しい仲間

T (富士見台 新中3)

H (葦原中 新中3)

Tさんは面白くておしゃべりな子で、H君は優しくして真面目な子という印象です！

## 入試の報告

高校入試がおわりました。

進学先は

M 新座柳瀬高校

U 山村国際高校

T 新座総合技術高校 電子機械

E 山村国際高校

S 秀明英光高校

今年は公立受験が2名、全体でも5名と少ない代でしたがその分濃かったなあと思っています。

個人情報なので言えないこともあります。ギリギリまで進路選択を悩む子、塾に来て自分で説明会や願書提出をやる子、など成長を感じる事が多かったです。

## 面談をしています。

任意のものですが、3月より希望される方に保護者面談をしています。特に受験生のご家庭は一度お話しできればと思っていますので、ご連絡ください。



## テスト後の話

中学生は3学期のテストの後、結果や、テストの答案を元に私と振り返りをしました。そこで出てきた生徒たちの言葉を紹介します。

- ・数学が苦手意識があって最後まで終わらない。焦る。
- ・ワーク（提出物）を最後までやるので大変。
- ・テスト直前まで集中して勉強できなかった。
- ・ミスが多かった。見直しする時間がなかった。

どうですか？なんか、自分達もそうだったなーわかるなーと思います。そして、全部に共通する課題というか、障害があるのですが、なんですか？

それは、「時間」です。時間に追われているんです。締め切りがあるから頑張れる面もありますが、時間によって焦ってしまっている。そんな子どもたちの様子を感じています。

数学に苦手意識があっても、時間のことを気にせず解けたら、楽しさを知れるチャンスがあるのに、ワークもじっくり取り組めば、1回でも2回でもちゃんと学べる教材なのに、時間があれば見直しして、納得してテストを提出できたのに、そんなことを感じながら話をしていました。

## 昼のしつもん塾の経過報告

不登校向けに昼間も塾を開けることにしたと前回お伝えしました。その後2名ほど問い合わせと説明をしましたが入会には至っていません。

「お手伝いしますよー」と言ってくださった保護者の方もいてくださり、大変嬉しいのですが、ゆっくりとお待ちいただければと思います。焦っても仕方がないですね。

私の動きとしては2月にふじみ野市の教育委員会に行き説明をしてきました。チラシの学校への配布などの話が出ましたが「学校に来なくてもいいというメッセージになる」という理由で話は進みませんでした。富士見市、三芳町も各自治体の適応指導教室があるので不登校はそちらで対応するということでした。

「なかなかつれないなあ」と思いましたが、私としては個人の塾なので制度や大きなシステムではできないことを柔軟にやりたいなと思っています。そしてこういうつれない対応をされると逆に燃えるので、粘り強くやっていきたいなと思っています。

また、ふじみ野市の地域福祉課や社会福祉協議会の方とも先日会議をする時間を頂きました。こちらはとても柔軟で地域で包括的に連携していく、ということで今後もつながりをもってやっていけそうです！

文部科学省が、不登校が30万人を越えて、これからの学校や自治体、民間の施設のありかたについてわかりやすくまとめています。

理想的なものです。現状のこれからの社会を担う若者が「苦しい」と声をあげている状態を「あたりまえ」にしないように、私たちもやわらかく変化を促せるといいなと思っています。

文部科学省の資料は  
こちらで見ることができます。→

